

京都山城総合医療センター
第五次経営計画進捗状況
(令和4年度上半期報告)

令和4年11月

国民健康保険山城病院組合

目 次

1. 経営計画主要項目
2. 経営計画の進捗状況
3. 上期経営状況

1. 第五次経営計画主要項目

(1) 計画期間

令和4年度から令和6年度までの3カ年とする。

来るべき2025年に向け、山城南医療圏における地域医療支援病院として、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

(2) 重点テーマ及び取り組み内容

山城南医療圏における地域完結型医療を目指すとともに、限られた医療・介護資源を有効に活用し、持続的かつ安定的な医療提供体制の構築に向け、次の重点テーマに取り組むこととする。

重点テーマ	数値目標（令和6年度）
(1) 経営の安定化	◇延入院患者数 年間10万人以上（回復期病棟含む） ◇急性期病床利用率 80%以上 ◇回復期病床利用率 90%以上 ◇総収支比率※1 100%以上（営業収支比率※2 100%） ◇職員の適正な人員配置（給与費率55%以下） ◇年度末における資金残高の増を目指した安定した経営
(2) 地域連携の強化	◇診療依頼を断らない体制の強化 ◇紹介率85%以上 ◇逆紹介率100%以上 ◇地域の医療従事者研修の充実
(3) 救急医療の充実	◇時間内救急応需率100% ◇救急総受容率90%以上 ◇当地域における救急搬送のカバー率 60%以上 ◇救急受入体制強化のための人員配置
(4) 診療科の充実	◇山城南医療圏における疾患別カバー率の向上 ◇脳神経外科医増員 ◇整形外科医増員 ◇回復期リハビリテーション病棟開設（令和5年4月予定）
(5) 医療機器の整備	◇計画的な医療機器等の整備・更新 ◇計画的な建物設備の整備・更新 ◇高度医療機器の導入の検討（ロボット手術等）
(6) 職員の意識改革	◇医療の質の向上 ◇働き方改革の推進 ・業務効率化（ICTの活用）の推進 ・タスクシェア・タスクシフトの取り組み ◇超過勤務時間の削減（R3年度対比10%減） ◇患者サービスの向上（待ち時間短縮・接遇向上等）

※1 総収支比率 = 総収益 / 総費用 × 100(%)

※2 営業収支比率 = 医業収益 / 医業費用 × 100(%)

2. 経営計画の進捗状況

(令和4年9月末現在)

○ 達成、△ 現在進行中、※ 以降に実施を目指す事項、⇒ 前年度の状況を継続、 未達成

施策	目標年度			備考
	4年度	5年度	6年度	
(1) 経営の安定化	-	-	-	
◇延入院患者数 年間10万人以上 (令和6年度目標: 回復期病棟含む)	△			・令和4年度上半期 延入院患者数39,029人 ※3階病棟(ICUを除く)について、コロナ専用病床に転換した為、一部受入が制限された。
◇病床利用率向上への取組	△			・令和4年度上半期 急性期病床利用率66.4% (上記 新型コロナ対応の影響あり) ・回復期病床は、令和5年4月開設に向け、改修工事及び広報等準備を進めている。
◇総収支比率 100%以上 (営業収支比率 100%)	※			
◇職員の適正な人員配置 (給与費率55%以下)	※			
(2) 地域連携の強化	-	-	-	
◇診療依頼を断らない体制の強化	△			・救急部門に専任医師1名の配置体制を継続 ・救急対応医師の増員(非常勤医師 週1回)
◇紹介率・逆紹介率の更なる向上 (地域医療支援病院としての役割の更なる推進)	△			・令和4年度上半期 紹介患者数5,070人、紹介率63.2% ・令和4年7月地域住民、かかりつけ医を対象とした「認知症疾患医療センター」の周知を目的とした講演を実施し、地域における認知症対応力向上を図った。 ・令和4年度上半期 逆紹介患者数4,425人、逆紹介率78.3%
◇地域の医療従事者研修の充実	△			・コロナ禍のため、対面ではなくオンラインで開催(令和4年度上半期6回開催)
(3) 救急医療の充実	-	-	-	
◇救急受容率の向上の取組	△			・救急部門に専任医師1名の配置体制を継続 ・非常勤医師(時間外)による応援体制を継続
◇救急受入体制強化のための人員配置	△			・外来部門に救急看護認定看護師1名の配置体制を継続

施 策	目標年度			備 考
	4年度	5年度	6年度	
(4) 診療科の充実	-	-	-	
◇地域完結型医療に向けた取組 ・山城南医療圏における疾患別カバー率の向上 ・新興感染症等発生時の迅速な対応	△			・がん・難病・透析・医療的ケア児等、当院で担うべき対象患者を中心とした訪問看護の継続 ・新型コロナ重点医療機関として、山城南医療圏域における新型コロナ感染患者対応の継続 (コロナ専用病床における入院対応及び発熱外来等)
◇医師が不足する診療科について増員に向けた取組	△			・令和4年4月より脳神経外科医(常勤)1名増員
◇回復期リハビリテーション病棟開設(令和5年4月予定)	△			・令和4年10月より改修工事着工 ・令和4年10月よりリハビリテーション科常勤医1名配置
(5) 医療機器の整備	-	-	-	
◇計画的な医療機器等の整備・更新	△			・令和4年9月 デジタル式乳房用X線撮影装置更新
◇計画的な建物設備の整備・更新	△			・手術部門システム、空調設備更新準備中
(6) 職員の意識改革	-	-	-	
◇医療の質の向上 (医療の質及びホスピタリティーの向上等)	△			・職員に対する各種研修の実施 ・病院幹部職員を対象とした医療メディエーター研修の開催(9月)
◇働き方改革の推進 ・業務効率化(ICTの活用)の推進 ・タスクシェア・タスクシフトの取り組み	△			・勤怠管理システム導入の検討、既存人事システムの活用拡大の検討
◇超過勤務時間の削減(R3年度対比10%減)	△			・各所属長において、職員の時間外勤務時間の把握、分析を行い、超過勤務時間の縮減に努めている。
◇患者サービスの向上(待ち時間短縮・接遇向上等)	△			・令和4年6月より院内Wi-Fiの運用開始 ・職員の接遇対応向上を目的とした研修会の定期的な開催を継続 ・採血室混雑緩和のための取組を実施

3. 令和4年度 上期経営状況（4月～9月）

(1) 収益的収支

(単位：千円)

	4年度上期 (4～9月)見込額	3年度上期 (4～9月)実績額	(4～9月)前年比
事業収益	4,214,452	4,144,055	70,397
うち入院収益	2,215,475	2,236,860	△ 21,385
うち外来収益	1,297,437	1,316,857	△ 19,420
事業費用	4,013,182	3,966,364	46,818
うち給与費	1,932,043	1,918,946	13,097
うち材料費	1,100,717	1,108,462	△ 7,745
うち経費	639,625	579,944	59,681
経常損益	255,256	220,556	34,700
特別損益	△ 53,986	△ 42,865	△ 11,121
純損益	201,270	177,691	23,579

(2) 患者数

(単位：人)

	4年度上期 (4～9月)実績額	3年度上期 (4～9月)実績額	(4～9月)前年比
外来延患者数	72,132	70,482	1,650
入院延患者数	39,029	40,441	△ 1,412
新入院患者数	2,876	3,028	△ 152
総紹介患者数	5,070	5,481	△ 411
うち初診紹介患者数	3,648	4,073	△ 425

(3) 職員数

(単位：人)

	4年度上期 (9月1日時点)	3年度上期 (9月1日時点)	前年比
医師数	66	62	4
看護師数	245	246	△ 1
医療技術職員数	87	83	4

※職員数には会計年度任用職員(フルタイム)を含む